

全国の教職員の皆様へ

教育予算の増額による、ゆきとどいた実験・実習教育の実現と「実習助手」制度改革実現のとりくみをすすめてみましょう。

2021年6月2日
全日本教職員組合
実習教員部常任委員会

全教実習教員部は「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」を毎年集約し、文部科学省をはじめ、教育関係諸団体への中央要請行動にとりくんでいます。この署名は、どの子にもゆきとどいた実験・実習教育の実現を願い、教育予算の増額と教職員定数の改善、施設設備の充実を強く求めるとともに、「実習助手」制度改革を要求しています。

長年にわたり私たち実習教員が希求してきた「実習助手」制度改革とは、教育諸条件の法整備が一定段階に到達したとき、これを起因として、実験・実習教育にかかわる部分をより改善していくためのものです。この制度改革実現のためには、実験・実習を含めた教育予算が十分に確保され、教諭を含めた教職員定数の保障と、ゆとりある教育条件整備が達成されなければなりません。

しかし現在、制度改革の実現を困難にさせている要因は、教育諸条件そのものが改悪されている点にあります。

「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」を全国から多数集約することは、「実習助手」制度改革実現のための教育条件整備だけでなく、「どの子にもゆきとどいた実験・実習教育」を実現させることにもつながります。全国でとりくまれている教育運動とあわせて、私たち全教実習教員部がとりくむ全国署名・中央行動を、全国の教職員とともにすすめていくことは大切なことです。

文部科学省をはじめとする中央要請行動を成功させるためには、全国の皆様からのお力添えが必要です。ぜひともご協力をお願い致します。